

## 就 職

## ◎企業数

東京都  
423,595 社

鹿児島県  
45,827 社

※総務省・経済産業省「令和3年経済センサス」2021年6月時点

## ◎初任給（千円）

東京都  
高卒 208.8 千円  
大卒 254.3 千円

鹿児島県  
高卒 190.6 千円  
大卒 229.7 千円

※令和6年度賃金構造基本統計調査

## ◎通勤時間

東京都  
約 92 分

鹿児島県  
約 60 分

※令和3年社会生活基本調査結果

## ◎平日における平均帰宅時間

東京都  
19 時 15 分

鹿児島県  
17 時 56 分

※令和3年社会生活基本調査結果

## MEMO：

東京の企業数は鹿児島の約 9.2 倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦労するかもしれません。初任給は高卒で約 1.5 万円高く、大卒では約 2 万円高くなっています。通勤時間は鹿児島が約 32 分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考え、時間以上に大変でしょう。平均帰宅時間は鹿児島の方が 1 時間 19 分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

## 家 計

## ◎家賃

東京都  
88,266 円

鹿児島県  
40,570 円

※令和5年住宅・土地統計調査

## ◎1か月の実収入（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）  
794,180 円

鹿児島市  
566,066 円

※総務省統計局家計調査年報 2024 年

## ◎1か月の実支出（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）  
536,769 円

鹿児島市  
411,438 円

※総務省統計局家計調査年報 2024 年

## MEMO：

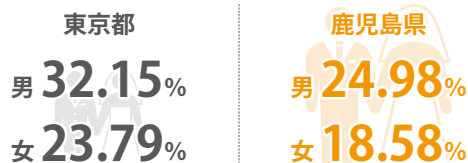
家賃は東京の方が約 2.1 倍高いようです。家賃のような固定費が高いほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要がありそうです。

2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出を比べてみると、東京は収入も多いですが、支出も多くなっています。仕事とプライベートのバランスを考えてみるのも大切です。

## 東京と鹿児島県の生活を「見える化」

## 結婚・出産・子育て

## ◎未婚率



※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集（2023 改訂版）

## ◎合計特殊出生率



※令和 6 年人口動態調査

## ◎出産費用（正常分娩の場合の平均）



※令和 5 年度厚生労働省保険局

## ◎1 か月間の教育費（2 人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2024 年

## MEMO：

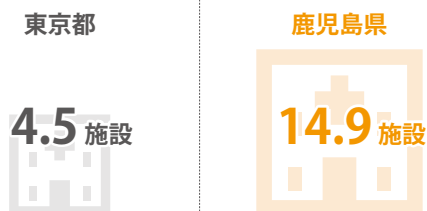
未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が 0.96 人、鹿児島が 1.38 人となっています。

出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約 1.5 倍高く、2 人以上の勤労世帯の 1 か月間の教育費にいたっては約 1.9 倍となっています。

子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えます。

## 生活

## ◎病院数（人口 10 万人当たり）



※令和 6 年医療施設調査

## ◎治安（人口千人当たり）



※令和 6 年犯罪統計より算出

## ◎自家用乗用車の普及台数（1 世帯当たり）



※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和 7 年 3 月時点

## MEMO：

病院数は人口 10 万人当たり、東京の 4.5 施設に対し、鹿児島は 14.9 施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。

自家用乗用車の普及台数を 1 世帯当たりで比べると、東京が 0.405 台、鹿児島は 1.183 台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に 1 台は車が必要となるようです。